

防護手袋に関する試験のご紹介

ISO 23388:2018 (EN388 : 2016)
機械的リスクに対する防護手袋

防護手袋とは、作業中に手を傷や汚れ、化学物質、熱、刃物などから守るために着用する手袋のことです。工場や医療現場、清掃作業などさまざまな場面で使われています。

安全を確保するためにとても重要なアイテムです。

広州試験センターでは、ISO23388:2018 (EN388:2016)機械的リスクに対する防護手袋の試験を承っております。下記に試験内容をご紹介します。

この規格では防護手袋の耐切創性・耐突刺性・耐摩耗性・耐衝撃・引き裂き強度について試験します。

耐切創性試験

カッターや包丁などの刃物、ガラス、金属などに対する切れ難さを評価



円形刃に所定の負荷を加え試料を往復切創する。
試験片と対照試料の比較を通じて、切創指数を算出する。



Level	1	2	3	4	5
指数	1.2	2.5	5.0	10.0	20.0

耐突刺性試験

クギや針のような鋭利な物体での突刺に対する抵抗性の評価



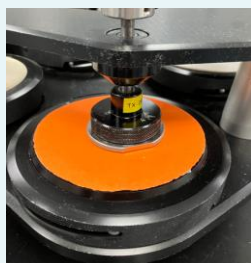
鋼針を用いて試験片に力を加え、所定の高さへ到達、または、先に破断した場合は、破断するのににかかった強度を記録する。

Level	1	2	3	4
強度N	20	60	100	150

耐摩耗性試験



サンドペーパーで試験片を摩耗し、破損するまでの摩耗回数から評価値を判定



Level	1	2	3	4
回数	100	500	2000	8000

耐衝撃試験



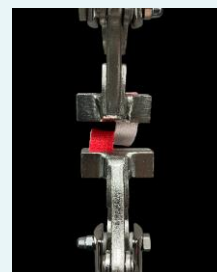
ハンマーを5Jで落下させた時の試料が受ける最大荷重を測定



引き裂き強度試験



試験片を規定の速度で引裂いた時の引き裂き強度を測定



Level	1	2	3	4
強度N	10	25	50	75

広州試験センター

広州市経済技術開発区科学城
科珠路198号SGS内

TEL: +86-20-8215-5605

Email: guangzhou@boken.or.jp

中国営業担当：竿田・橋口



お問い合わせ

最新情報更新中

WeChat

